

# 市政ニュース

## 市有施設・学校教育施設のアスベスト使用状況 5つの施設で使用を確認、対応を進めています

最近、肺がんや中皮種などアスベスト（石綿）が原因と見られる疾病死が多数発生していることが全国で報告されています。

市では、市有施設・学校教育施設における吹付けアスベストの使用状況について調査を進めており、9月12日現在アスベスト使用が確認された施設の使用状況を左表のとおりお知らせします。

施設名	使用場所	対応	
市有施設	水通事業所 第2ポンプ棟 (上佐野)	原則立入禁止 撤去工事予定	
	豊岡市市民会館	ボイラー煙突	封じ込み工事完了済 (今年2月)
		文化ホール天井・ 屋根裏	ビニールシート被覆 撤去工事予定(注1)
		会館棟3階書庫天井	原則立入禁止 撤去工事予定 (濃度調査中)
学校教育施設	西気小学校	体育館屋根裏 (2次製品)	囲い込み工事予定 (注1)
	五荘小学校	ボイラー室	撤去済(今年5月)
		電気室	
	豊岡南中学校	ボイラー室	
		電気室	
エレベータ室			

注1 空気中濃度はいずれも1ℓ当たり0.4本未満であった(大気汚染防止法で定める工場・事業場の敷地境界線の排出基準は1ℓ当たり10本以下)

アスベスト(石綿)とは?  
天然にできた鉱物繊維です。熱に強く、摩擦に強く切れにくい、酸やアルカリにも強いなど、丈夫で変化しにくいという特性を持っています。

なぜ危険?  
丈夫で変化しにくいので、吸い込んで肺の中に入ると組織に刺さり、15〜40年潜伏期間を経て、肺がん、悪性中皮種などの病気を引き起こすおそれがあります。

どこに使用されている?  
鉄骨造建築物などの軽量耐火被覆材や吸音・断熱材として吹付け、建材(2次製品)に昭和30年頃から使われ始め、昭和40年代の高度成長期に多く使用されています。

具体的な対応策は?  
設計図書による建物の竣工年・アスベスト使用有無などの調査や現場を目視する調査、また、専門家による分析調査を行うことが望まれます。

- 市有施設 財政課管財係
- 学校教育施設 教育総務課
- 施設係
- その他 生活環境課環境衛生係

## 精神障害者地域生活支援センター

### 「ほおずき」が開所しました

9月1日、精神障害者社会復帰施設である地域生活支援センター「ほおずき」が、生活訓練施設「ほおずき」が、生活支援センターとして開所しました。

設置主体は、医療法人敬愛会で、敷地は、北但1市3町が共同で無償貸与しています。

「ほおずき」は、生活支援センターとして、生活支援センター「ほおずき」が、生活支援センターとして開所しました。



9月1日に開所した地域生活支援センター「ほおずき」

## 豊岡中核工業団地に企業誘致

### (株)ウノフク移転、靴産業の発展に期待 分譲率約95パーセント、残り2区画

9月2日、市役所会議室で、豊岡中核工業団地(豊岡市神美台)に移転を決めた市内梶原の靴袋物製造・卸売会社(株)



協定書を交わす(株)ウノフクの卯野隆也社長(左)と中貝市長

ウノフクと、土地譲渡契約、公害防止協定の調印式を行いました。

(株)ウノフクは、昨年の台風23号で浸水し、在庫が被害に遭い、また、社屋が手狭になったこともあり、今回、団地への移転拡充を決定しました。

計画では、2〜3年後の操業開始を目指します。

これで団地の分譲は、31区画中29区画(総面積の約95パーセント)が完了し、残り2区画となりました。

## 身近なところに予約の図書を届けます 図書室の整備とネットワーク化

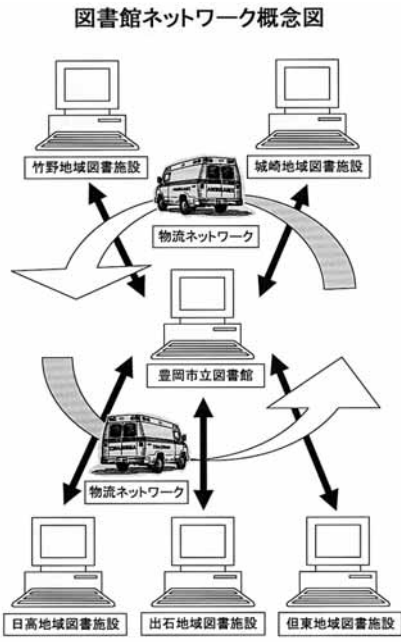
市では、旧町の図書館(室)を整備するにあたり、施設の適正なあり方や効率的な図書館サービスが得られるよう情報化時代に適応した「豊岡市図書施設の整備・ネットワーク基本計画」を策定しました。

### 基本的整備方針

賑わいの空間づくり  
総合支所の空きスペースを図書施設として整備し、幅広い住民の利用によって賑わいのある空間を創出します。

### どこでも、誰でも同じサービス

豊岡市立図書館で事業実施している貸出、返却、検索、予約などの図書ネットワーク



システムを旧町の図書館(室)にも拡大し、図書館サービスの拡充を図ります。整備により合計約25万冊の図書資料の検索、予約が可能となります。すぐに届く物流システム

予約した図書ができるだけ早く住民に届けることができ、物流システムとして、豊岡市立図書館と各地域図書施設の間を定期的に巡回する便を設定し、図書資料等を搬送します。

### ネットワーク整備計画

平成17年度 但東・出石  
平成18年度 日高・竹野  
平成19年度 城崎

## 高齢者保健福祉月間 豊岡市内の百歳以上は37人

### 最高齢者、最高齢夫婦を 祝福訪問

兵庫県では、9月を「高齢者保健福祉月間」とし、県内でさまざまな行事を行っています。豊岡市内には、9月1日現在、百歳以上の方が37人在住しています。

市では、9月2日、市内の最高齢者と最高齢夫婦を祝福するため、奥田助役が訪問し、記念品などを贈りました。

### 最高齢者(107歳)

田原 連さん

市内の最高齢者は、日高町西芝在住の田原 連さん(107歳・明治31年生まれ)です。連さんの長寿の秘訣は、若い頃に柳行李づくりなどで



田原 連さんに市からのお祝いを奥田助役が贈りました

よく働いたこと、大好きな和菓子など甘い物を食べるのだそうです。

### 最高齢夫婦(計190歳) 近本 巖さん・よし子さん

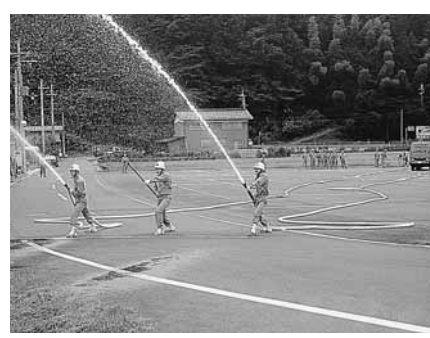
市内の最高齢夫婦は、但東町三原在住の近本 巖さん(99歳)・よし子さん(91歳)で夫婦合わせて190歳です。

2人に長寿の秘訣を聞くと、巖さんは「食事を食べ過ぎないこと。でも、お酒は大好きです」、よしさんは「家族全員で会話をしながら食事をすること、体を休めることです」と話していました。



仲良く元気な近本 巖さん・よし子さん夫婦

## 第16回 但東消防団 操法大会 第4分団が優勝



自動車ポンプ操法の様子

8月28日、第16回但東消防団操法大会が、資母体育館駐車場で行われました。

但東町の6つの分団が出場し、自動車ポンプ操法をきびきびとした動作で取り組み、豊岡市消防本部による厳正な審査の結果、第4分団が見事優勝しました。なお、最優秀個人賞の受賞者は次の方々です。(敬称略)

【指揮者】出水 覚(第2分団)【1番員】西垣秀昭(第5分団)【2番員】酒井敏則(第5分団)【3番員】山田昌弘(第4分団)【4番員】永棟正人(第5分団)